

鉄骨工事 Q&A	工作	鋼材識別	制定	2011年7月1日
			改訂	2019年4月1日

Q. 鋼材の材質確認にはどんな方法があるのか？

A.

ミルメーカーなどから搬入された鋼板や形鋼は規格品証明書と照合することで材質確認ができます。また、SN材の鋼板では、プリントマークで、形鋼では印字などでも確認できます。間接的には、ネステイングシートによる方法もあります。400N級鋼と490N級鋼を識別する時は、「スチールチェッカー」も目安になります。

スチールチェッカーのメーカー・ホームページによりますと、左側のタイプの生産は2008年12月末日で終了(在庫品は販売する)、修理対応期間も2015年12月末日で終了しています。

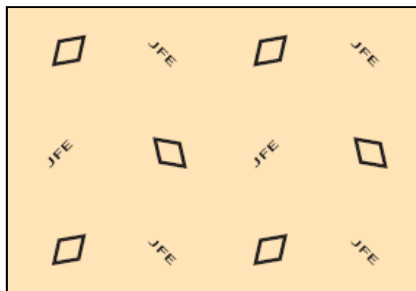


スチールチェッカー:アナログ表示

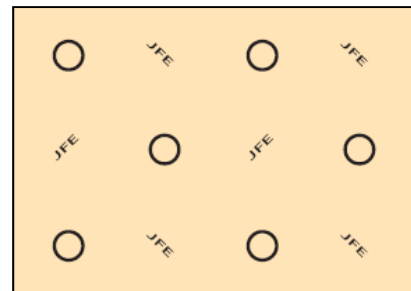


スチールチェッカー:デジタル表示

SN材
の鋼板



SN400



SN490



H形鋼(SS400)



冷間成形角形鋼管(BCP325)

この「400」という表示はメーカーがサービスでSS400に付けている印です。

SM材には、特にマークが付きません。

SN材には、SN400, SN490といった表示がされます。

出典: (一社)日本建築学会_鉄骨工事技術指針・工場製作編、2018